

まちづくり、
くらしの情報
を届けます

相馬
ゆうこの

南千住レポート



・HP→
・Twitter @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp



区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192



交通事故増加 誰もが安心して歩ける荒川区に

9月21～30日は秋の交通安全週間。町会をはじめ、みなさんご苦勞様です。
今年1～6月の区内交通事故件数は159件、昨年につづき件数・死傷者数とも増加し、年間300を超えるペースです。南千住署管内でも54件と昨年に続き増加傾向に。

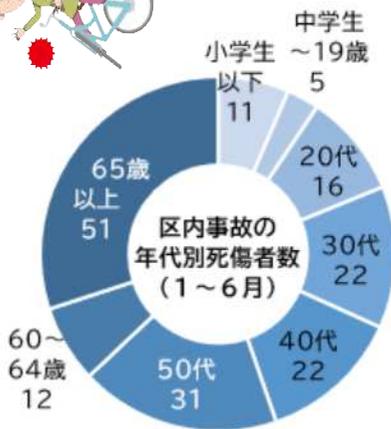


区内の交通事故発生状況(2023年1～6月)

	発生件数			死傷者数		
	2021	2022	2023 (1～6月)	2021	2022	2023 (1～6月)
南千住署	73	117	54	76	122	56
荒川署	121	118	59	136	132	60
尾久署	98	87	46	102	94	52
計	292	322	159	314	348	168

自転車の事故 区内事故159件
が約65% のうち約65%が
自転車事故で、23区で最も高くなっ
ています。区の担当課によると、
主な移動手段が「自転車」の割合

が23区中4位と高く、高齢者が「自転車で転ぶ単独事故」が多いとのこと。



高齢者自身も危険を感じながら、自転車に頼って外出している場合も多いのです。単独で買い物・通院時の安全を確保する区や地域の身近な支援策を考えたい。

自転車ヘルメット着用は1割 年代別死傷者数では「65歳以上」
が3割以上ですが、「50代」も多く「小学生以下」も11名で心配です。

5月には東日暮里で50代の方が自転車走行中に電柱に衝突・転倒して死亡する事故も発生。4月から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務となりましたが、7月時点の着



用率は全国で13.5%、東京都では10.5%です。東京では、交通量も多く、自転車・歩行者のマナー向上とともに安全な走行環境の整備こそ国・自治体に求められます。



電動キックボード 7月から電動キックボードが規制緩和され、区内に
何より安全対策を もシェアサービス事業者のポートが2か所設置。緩和
から1か月間で信号無視など交通違反が全国で400件超、人身事故も7件起
きています。区も「各世代に向けた啓発を行う」としてはいますが、利用者
と周囲の命をまもる安全対策強化を求めたい。

10月から電気料金 また 値上げ～区の支援は

電気・ガス大手事業者がそれぞれ引き上げを発表、10月から電気・ガス代が値上げに。物価の値上げも止まらない中、これからの冬の暖房費も心配。

東京電力は標準的な世帯で月800円前後、また、東京ガスは月400円前後の値上げです。東京電力の料金値上げは6月に続いて今年2度目で、6月の約900円（約16%）増と合わせると、値上げ前と比べ月1,700円程度の増加に。

【国の電気・ガス代補助は…】

補助額

※9月使用分から補助が減るため、10月の請求分から値上げになる

当初の予定	2023 1月 ～ 8月	電気:1kw当たり7円 ガス:1m ³ 当たり30円
	9月	電気:1kw当たり3.5円 ガス:1m ³ 当たり15円
↓ 延長		
追加	10月 11月 12月 2024 1月	電気:1kw当たり3.5円 ガス:1m ³ 当たり15円 終了



国が補助を半減に 国は物価・エネルギー高騰対策として、今年1月から事業者へ電気料金1kw当たり7円、都市ガス1立方メートル当たり30円の補助を実施しています。9月使用分は補助額を半分に減らし終了する予定でしたが、12月まで継続を決めたものの、補助額は半減のままです。食料をはじめあらゆる物価が上がり、庶民はがまんつづきです。

値上がりの根本原因の円安や金融緩和がつづき、消費税も10%のままで、補助も縮小でいいのでしょうか。くらし応援と消費税5%減税や区の独自支援も求めたい。

見えないカーブミラー

JR常磐線の線路沿いの雑草が伸びて「カーブミラーが見えなくて危険」とのご意見が。保育園も近く確かに危ない。区の道路管理担当に相談し、本来はJRがやるべきですが、ひとまず区が除草を実施。

毎年のごとで、改めて定期的な管理をJRにつよく求めたい。



〈法律・生活相談〉

10月の定例法律相談日は 12日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

高齢の方などの「買い物支援」を！議会で提案



9/3付のレポートに掲載した、区内の「買い物不便地域への支援」について本会議で質問しました。

独自の支援 検討なし 高齢化がすすむ都営住宅の敷地内ではスーパーの移動販売が始まっていますが南千住地域には来ておらず、「どうしたら来てもらえるか」との要望も。「荒川区でも、足立区のような移動販売を支援する制度(※)をつくってはどうか」と質問しましたが、区は「都営住宅の敷地内については都が主体で行っている、それ以外の場所では困難」「民間の動向を注視する」と、消極的な答弁で残念です。

※足立区の買い物支援は…

都営住宅で移動販売を希望する事業者を募集、登録をしてもらい、区が希望のある地域と事業者のマッチングを実施。登録事業者はスーパーだけでなく近隣農家の野菜販売、地元商店会の食品販売なども。万が一のトラブルなどにも区が対応しています。



「らく楽商店街事業」 どうなった？



地元企業のリヤカーで配達

区は2013年に、商店街で買い回りをした際に商品を無料で自宅まで届ける「らく楽商店街事業」を開始、べるぼうと汐入商店街とおぐぎんぎ商店街の2か所で実施していました。しかし、1日あたり平均20件あった利用がコロナ禍で減少、経費を全額補助から商店街に一部負担を求める見直しを行ったことなどから、2か所とも2020年度で終了に。

区は当初「買い物弱者への支援」としていましたが、2019年からは単に「商店街利用者向けのサービス」との位置付けに変更。高齢化のなかで買い物支援の必要性について再検討を求めたい。



べるぼうと汐入商店街

住みなれた街に 住み続けたい

高齢化や商店街の店舗減少などで、買い物不便地域への支援は地方だけでなく都市部でも課題です。300m、400m先のスーパーまで行くのが大変という方が少なくありません。実際にどの地域でどのように困っているか、日常の買い物について実態調査を行い具体的な支援を検討してほしい。商店街と連携した地域振興、高齢者の見守りなど兼ねた施策なども検討し、年をとっても住みなれたまちに、住み続けられる荒川区を。



商店街へ「送迎」サービスも

武蔵村山市の村山団地では、高齢化がすすみ、商店街で「宅配サービス」を開始。しかし自分で品物を見ながら買い物する、お店でおしゃべり、街で知り合いと出会ったりすることの希望があることに気づき、商工会が主体となって「送迎自転車」の運行を開始。市と連携し、利用者に心配を感じた場合に市の包括支援センターに連絡する「見守り」も実施しているそう。

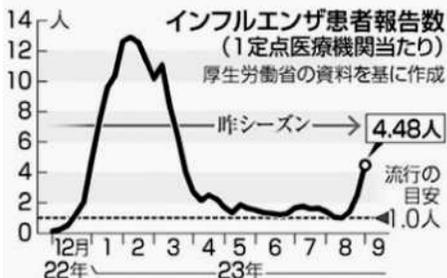
地域性などの違いはあっても、高齢者の気持ちや要望に寄り添って考えることが大切なのは同じです。



商工会が開発した送迎車(すごい!)

気を付けて…インフルエンザ流行が止まらず

インフルエンザは例年冬に流行し春には収束しますが、今年は4月以降も流行が続き、9月に入り再び増加しています。定点患者数は全国「4.48人」、東京都「5.95人」で、流行の目安とされる「1人」を大きく上



※厚労省の基準では、全国約5,000か所の定点医療機関から報告された患者数を集計し、1週間で1機関当たり「1人」を超えれば流行と判断しています。

さらに新型コロナ感染もあり、学級閉鎖がふえています。新学期開始以降、現在までに6校（小4校・中2校）13クラスで学級閉鎖に。同じ学校で複数のクラスに広がるケースもあり、気を付けたい。

インフルエンザ予防接種の開始を早める、子どもの費用助成がやはり必要では。何とか実現したい。

新学期（9月）の学級閉鎖の状況

4～6日	二日小	インフルエンザ
5～7日	二日小	インフルエンザ
7～9日	第一中	インフルエンザ
9～11日	第一中	新型コロナ
9日	二日小	インフルエンザ
11～13日	二日小	インフルエンザ
14～16日	五峡小	インフルエンザ
15日	三瑞小	新型コロナ
15～17日	五峡小	インフルエンザ
16～18日	南二中	新型コロナ
19、20日	第一中	インフルエンザ
20、21日	峡田小	インフルエンザ
20～22日	五峡小	新型コロナ

千住製絨所の赤レンガ補修中

荒川工業高

校（6丁目）沿いに残る千住製絨所の赤レンガ塀は、産業遺構として残っています。ひび割れが見られ、耐震補修も必要となり8/17～翌3月まで補修工事を実施中。ライフ脇にもレンガ塀あり。



千住製絨所は、1879年（明治12）井上省三（銅像がスポセン前）が、ドイツから被服製造技術を持ち帰り軍服などの国産工場を建設、操業しました。広大な敷地に戦後は、大和毛織や大毎オリオンズの拠点・東京スタジアムが開設などの時期も。

ご意見・ご質問頂きました ○コメント頂きました。「学童クラブの夏休みにお弁当対応が来年からできるようですね。困っていることや要望をしても、なかなかできないとあきらめていましたが、実現することもあるのですね。これからも身近なことを取り上げてください」少しずつでも改善できるように訴えていきたい。○「年金だけではやっていけず、74才で、マンション清掃の仕事をしています。ところが、階段でつまずいて圧迫骨折してしまい、家賃滞納で、どうなるのでしょうか…」切実な実情です。いざという時の生活保護制度利用も視野にいろいろご相談。必ず落ち着きます。

